

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成25年3月21日 (2013.3.21)

【公開番号】特開2011-159240(P2011-159240A)

【公開日】平成23年8月18日 (2011.8.18)

【年通号数】公開・登録公報2011-033

【出願番号】特願2010-22524(P2010-22524)

【国際特許分類】

G 0 6 F 12/16 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 12/16 3 1 0 Q

G 0 6 F 12/00 5 4 2 M

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月31日 (2013.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

不良ブロックのための代替ブロックを含む複数のブロックを有する記録媒体に対し、所定のファイルシステムに従ってデータをファイルとして記録するとともに、前記ファイルを管理するためのファイルシステム情報を記録する記録手段と、

前記記録媒体に記録されたファイルシステム情報を更新するために必要なデータ量に基づいて閾値を設定する設定手段と、

前記記録媒体における代替ブロックの残量と前記設定手段により設定された前記閾値とに基づいて、前記記録手段を制御する制御手段とを備え、

前記制御手段は、前記代替ブロックの残量が前記閾値以下の場合に、前記記録媒体に対するデータの記録を禁止するように前記記録手段を制御することを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記設定手段は、前記ファイルシステム情報のデータ量よりも大きい値を前記閾値として設定することを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記データの記録中に前記代替ブロックの残量が前記閾値以下となった場合に前記データの記録を停止して、前記記録媒体に記録された前記ファイルシステム情報を更新するように前記記録手段を制御することを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 4】

前記記録媒体に記録するデータを入力する手段と、

前記入力されたデータを記憶するメモリとを備え、

前記記録手段は所定量の前記データが前記メモリに記憶されたことに応じて前記メモリから前記所定量の前記データを読み出して前記記録媒体に記録し、

前記設定手段は、前記ファイルシステム情報を更新するために必要なデータ量と前記所定量との和を前記閾値として設定することを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 5】

前記データは静止画データを含み、

前記設定手段は、前記ファイルシステム情報を更新するために必要なデータ量と前記静止画データのデータ量との和を前記閾値として設定することを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 6】

前記記録媒体は、前記複数のブロックを有する記憶部と、前記記憶部に対するデータの書き込み及び読み出しを制御するコントローラとを有し、

前記制御手段は、前記コントローラに対して前記閾値の情報を出力し、前記記録媒体から前記代替ブロックの残量が前記閾値以下となったことを示す通知を受けた場合に、前記データの記録を停止するように前記記録手段を制御することを特徴とする請求項 1 から 5 の何れか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 7】

前記制御手段は、前記記録媒体から代替ブロックの残量を示す情報を取得し、前記取得した情報に基づき、前記代替ブロックの残量が前記閾値以下となった場合に、前記データの記録を停止するように前記記録手段を制御することを特徴とする請求項 1 から 5 の何れか 1 項に記載の記録装置。

【請求項 8】

前記データは動画データと静止画データとを含み、

前記設定手段は、前記動画データを記録する動画記録モードと前記静止画を記録する静止画記録モードとで、前記閾値を異なる値に設定することを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 9】

不良ブロックのための代替ブロックを含む複数のブロックを有する記録媒体に対し、所定のファイルシステムに従ってデータをファイルとして記録するとともに、前記ファイルを管理するためのファイルシステム情報を記録する記録装置の制御方法であって、

設定手段が、前記記録媒体に記録されたファイルシステム情報を更新するために必要なデータ量に基づいて閾値を設定する設定工程と、

制御手段が、前記記録媒体における代替ブロックの残量と前記設定手段により設定された前記閾値とに基づいて、前記記録媒体に対するデータの記録を制御する制御工程とを有し、

前記制御工程では、前記代替ブロックの残量が前記閾値以下の場合に、前記記録媒体に対するデータの記録を禁止することを特徴とする記録装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記の目的を達成するための本発明による記録装置は以下の構成を備える。すなわち、不良ブロックのための代替ブロックを含む複数のブロックを有する記録媒体に対し、所定のファイルシステムに従ってデータをファイルとして記録するとともに、前記ファイルを管理するためのファイルシステム情報を記録する記録手段と、

前記記録媒体に記録されたファイルシステム情報を更新するために必要なデータ量に基づいて閾値を設定する設定手段と、

前記記録媒体における代替ブロックの残量と前記設定手段により設定された前記閾値とに基づいて、前記記録手段を制御する制御手段とを備え、

前記制御手段は、前記代替ブロックの残量が前記閾値以下の場合に、前記記録媒体に対するデータの記録を禁止するように前記記録手段を制御する。